

先日は、手賀沼定例探鳥会にご参加いただき、ありがとうございました。観察会のレポートを作成しましたのでご覧ください。次回9月の「てがたん」は9月12日(土)で、「トンボとバッタをさがそう」がテーマです。ご都合のつく方は、ぜひご参加ください。

\*市民スタッフの方々へ 次回のとがたん下見&打ち合わせは9月5日(土)です。よろしくお願いいたします。

\*参加の有無に関わらず、自然観察と生物調査スタッフのみなさまにレポートを送付させていただきます。

## 8月の観察コースと内容

- コース：鳥の博物館→手賀沼遊歩道→→→鳥の博物館
- 観察日時/天気 2009年8月8日(土) / はれ
- 参加者 37名(一般22名 子ども15名)
- スタッフ 9名(伊東茂子、大石高至、岡廣志、玄地昭八、小泉伸夫、弘實さと子、古川克彌、松村定雄、保田行弘)
- 鳥博職員 2名(斉藤安行、村松和行)

## 観察記録 — 8月に観察した生き物リスト—

### 【鳥類】

カイツブリ科：カイツブリ/カモ科：カルガモ/クイナ科：バン/ハト科：キジバト/ツバメ科：ツバメ/セキレイ科：ハクセキレイ  
/ヒヨドリ科：ヒヨドリ/ハタオリドリ科：スズメ/ムクドリ科：ムクドリ/カラス科：ハシブトガラス/外来種や家禽：コブハクチョウ、バリケン、アヒル、ドバト

### 【両生類】

ニホンアマガエル、ウシガエル

### 【魚類】

コイ科：タイリクバラタナゴ、ツチフキ、モツゴ/ドジョウ科：ドジョウ/ハゼ科：ヨシノボリ(トウヨシノボリ)

### 【甲殻類】

スジエビ

### 【昆虫】

[甲虫目] マメコガネ、ハンノキハムシ、カナブン、マメハンミョウ  
[チョウ目] ベニシジミ、ヤマトシジミ、ベニシジミ、モンキチョウ、アオスジアゲハ、アゲハ(ナミアゲハ)、キアゲハ、モンシロチョウ  
[カメムシ目] ニイニイゼミ、アブラゼミ、ツクツクボウシ、ヨコヅナサシガメ、アメンボ、チャバネアオカメムシ  
[バッタ目] ショウリョウバッタ、オンブバッタ、コバネイナゴ、ヒシバッタ、ウスイロササキリ、トノサマバッタ、エンマコオロギ、マダラスズ(声)、シバズ(声)、キンヒバリ(声)  
[トンボ目] コシアキトンボ、ノシメトンボ、ウスバキトンボ、シオカラトンボ、ウチワヤンマ  
[クモ] ジョロウグモ、ナガコガネグモ、オニグモ、アシナガグモ

### 【花】

マメ科] シロツメクサ、ヤマハギ、[カタバミ科] カタバミ、[オモダカ科] オモダカ、[サトイモ科] ヤマノイモ、[カヤツリグサ科] カヤツリグサ、ヤマイ、[キョウチクトウ科] キョウチクトウ、[ブドウ科] ヤブガラシ、[アカネ科] ヘクソカズラ、[ツユクサ科] ツユクサ、[オトギリソウ科]\*キンシバイ、[スイレン科] ハス、[クマツヅラ科] ボタンクサギ、[スイカズラ科]\*ハナツクバネウツギ、[アオイ科] ムクゲ、[ミソハギ科] サルスベリ、[ゴマノハグサ科] ウリクサ

\*は園芸種



# 8月の観察アルバム



テーマは「手賀沼の魚を探そう」でした。用水路で魚を捕まえたり手賀沼に3カ所で網を仕掛けたりと、魚をじっくり観察できました。来月のテーマのトンボもたくさん飛んでいたの、9月のてがたんも楽しみです。



案内人 大石高至さん、岡廣志さん、松村定雄さん



① 水の館内で魚を観察しました



② イネの花

黄色い葯がきれいでした



③ コナギ

8月頃に紫色の花が咲きます



④

用水路で魚をゲット!!



⑤ マメハンミョウ

毒を持っているので注意!



市民スタッフの岡さんにタナゴと二枚貝の共生関係について話をしてもらいました。



ドジョウ

ドジョウのひげは何本でしょう? 観察会后、調べてると10本ありました。シマドジョウは6本あり、ホトケドジョウは8本あります。



⑨ アブラゼミの抜殻

気管もきれいに脱皮した跡がありました(白い部分)



⑧

釣り堀前の網では、モツゴが多く獲れました



⑦

カッパの像前の網では、タイリクバラタナゴが多く獲れました



⑥

栈橋の網ではタイリクバラタナゴが多く獲れ、ツチフキも三カ所中一番多かったです

## 去年よりツチフキが多く獲れました!



去年の8月のてがたんで手賀沼に網を仕掛けた時よりも、ツチフキが多くみつかりました。関東には移入されて分布が広がりました。背びれが大きく、縞模様がよく目立ちます。水底の餌を食べるため、体は腹側が扁平で、一見ハゼの仲間のような形に見えます。

## 手賀沼のタナゴたち



タナゴ



オオタナゴ

今回獲れたタナゴは外来種のタイリクバラタナゴですが、手賀沼にはタナゴやゼニタナゴのような在来種もごくわずかに生息しています。また近年、霞ヶ関や利根川などで増えている大型外来種のオオタナゴが手賀沼でも増えているという報告があります。今後、手賀沼のタナゴ類と産卵床の二枚貝を奪い合う関係になるかもしれません。

**タナゴ**  
全長: 10cm  
分布: 本州  
産卵期: 4~6月  
日本のタナゴ類で最も体高が低い。

**オオタナゴ**  
全長: 15cm  
分布: ユーラシア大陸  
産卵期: 4~6月